

### 第3節 現状と今後の課題

組織運営における重要な課題の一つは、教員個々人の大学教員としての資質向上、能力開発・育成を図っていくことであろう。これに加え、教員組織全体としての教育・研究力を高めていくことも、重要な課題と位置づけられる。

教育学研究科においては、教員評価、学生による授業評価及びFDの実施、サバティカル制度の導入を通じて前者の課題に取り組むとともに、前者の課題に取り組むベースともなる教員の心身の健康を保障すべく健康診断の積極的受診を促し、受診率100%の達成を実現してきた。それらの成果の一つは、受託研究費の増加に顕著に現れている。一方、後者への取り組みとして、外国人教員及び客員教員の積極的登用により、教員組織の多様化・グローバル化を図ってきた。なお、男女共同参画の方針に基づく女性教員の積極的採用にも取り組み、女性教員比率に関して全部局のなかでも比較的高い状況を実現してきた。

以上の取り組みについては今後も継続し、種々の指標における高い数値の実現を目指していくことが必要であるとともに、今後は学部生・大学院生のグローバルな学びを実現するための組織運営のあり方を検討することが必要であり、この検討に着手したところである。